



世界の平和と人類の助かりの光に

教会だより『しのはら』

宗教法人 金光教篠原教会 〒520-2301 野洲市小南 1842 番地
☎ 077 (587) 1624 Fax 077 (587) 186 [Eメール shinohara-ko373@hotmail.co.jp](mailto:shinohara-ko373@hotmail.co.jp)



連日、熱中症警戒アラートが発令され、各地では線状降水帯による被害も、今年の夏は異常気象の中にたたされております。そんな中で、自然の動きは確かに秋を迎え、夜には賑やかな虫のコーラスも聞こえ、ツクツクボウシが、夏を惜しんで賑やかに、鳴いています。稲穂が頭を垂れて、刈り取り間近を知らせてくれています。このように、天地の変らぬ働きを感じさせていただけることに感謝しています。

辛いことの中に、ちょっとでも喜びを見つけ、この暑さを元気に凌がせて貰いましょう。

秋季霊祭を迎えさせていただきます。ご先祖さまあればこそ、私がいます。日々のお守り、お恵み、お導きに、感謝しましょう。

“みたまは”どこにいるの？
奥山巖雄著『発言』P427より

秋季霊祭（金光大神月例祭に併せ）
9月10日（水） 午後13：30

親思う心に親は居ますなり

守れわが身を親と思ひて（佐藤範雄師詠歌）

お霊様にお礼を申し上げます。

なお、当日特別にお霊様のお祭りをご希望される方は、**9月5日**までに教会までお知らせください。

ある時、ある人が、「真宗では、死んだら西方十万億土へ行く

くというし、神職様は、鈴を負って高天ヶ原へ上がると言います。宗教がたくさんあって、いろいろの教えがありますが、死んだら、魂がそのように色々とか分かれるのでしょうか」と教祖に尋ねた。

「そういうことはありはしない。十万億土へ行くのでもなし、鈴を負って高天ヶ原へ上がるのでもない。真宗や神道ばかりではなく、真言宗でも天台宗でも、死んだ者の魂は、天地の間にふうふうと、“ぶよ”が飛ぶように遊んでいるので、どこへ行くのでもない。天地の間におるのじゃ。わが家のうちの仏壇や、御霊舎（みたまや）にいるし、わが墓所に体をうずめていることからすれば、墓所と仏壇（御霊舎）とで遊び鎮まつておるのじゃ。祀るところには、どこでもその祀りを受ける」とお答えになった。死んだ人の魂は天地の間に居て、祀るところには、どこでもその祀りを受けてくれるのであるから、私の心で、父、母の御霊さまと念ずると、私の身に立ち添ってくださるということになる。姿は見えず、声は聞こえなくても、いつでも、どこでも、私を守り導き教えてくださるということになる。私自身の御霊も、また同様に働くことになる。



身近な人の死はさみしいものです。さみしくないとええぼうそになりま

さみしさをのりこえて

奥山巖雄著『発言』P144より

す。しかし、たとえ時間がかかっても、「死によって人は姿を隠すけれど、人のみたまは毅然として、天地の間にある」と信じることができれば、その寂しさは、克服されるものです。

子どもが小さい時、母親がちょっとトイレに入っただけでも泣きます。入園して間もない園児の中には、母

親の姿が見えなくなると、泣きだすこもいます。しかし、だんだん慣れるうちに、母親がそばにいて、手をつないでくれなくても大丈夫。他の園児と共に元気に遊ぶようになります。それは、園に母親の姿が見えなくても、家に母親がいてくれると信じているから、安心になれるのと同じなのです。





御霊神様に心を向けましょう

9 月祥月命日を迎えられる御霊神様の月例霊祭をお仕えします。お繰り合わせを頂いて、参拝させていただきしましょう。9 月祥月命日を迎えられるご霊神様は下記のとおりです



おみたさま ありがとう



増田米吉大人 奥山かん刀自 石原むめ刀自 南井専松老叟 塩田米吉老叟 今井仁兵衛老叟 丸岡ツイ刀自
富田源之助老叟 田中増五郎大人 鈴木茂郎男 菱田伊之助老叟 鎌田きぬ刀自 谷口与三郎老叟 谷口真心勇老叟
田中とき刀自 可知六之助老叟 谷口きく刀自 菱田よし刀自 寛峰童子之霊 奥山いわ大刀自 山田卯八老叟
鈴木正男郎子 田中うの刀自 江殿捨吉大人 杉江とえ刀自 可知六右衛門老叟 鍵和田亀代刀自 井之上フミエ之霊
鈴木なつ刀自 本城忠一老叟 鈴木かのゑ郎女 奥山高市之霊 鎌田しを刀自 南井佐恵子媼 上才磯八老叟
鍵和田弁龍大人 荒木智治郎老叟 苗村りき刀自 富田昌子刀自 馬場寅男郎子 辻井真心久根大人 奥山茂光若子
福井武夫彦 増田伊太郎老叟 向井瑞穂嬰兒 北村保治郎之霊 松浦しを刀自 菱田りつ刀自 江殿一郎翁

上記の霊神名簿に記載漏れや誤記がありましたら、教会までご連絡ください

時々刻々どんなときも身に寄り添いお守りくださっています。毎日お礼を申しましょう



今月のみ教え

死ぬというのは、みな神のもとへ帰るのである。魂は生き通しであるが、体は死ぬ。体は土から生じて、もとの地に帰るが、魂は、天から授けられて、また天へ帰るのである。死ぬというのは、魂と体とが分かれることである
(天地は語る―金光教教典抄―65)

9 月行事

1 月	おついたち参り 篠原輔教集会 (9:30~)
5 金	月例霊祭 (14:00)
8 月	本部月礼参拝・(下記参照)
10 水	金光大神月例祭・秋季霊祭 (13:30)
12 木	大津月例霊祭 大津 (14:00)
16 火	教会連合会臨時総会
20 土	典楽滋賀分会講習会 会場
21 日	天地金乃神月例祭 (14:00)
27 土	滋賀県教会連合会信活大会 (女性センター)

※教会長私用外出 ; 13(土) 悠紀の里 13:20~15:30

14 日(日) 小南敬老会 9:30~12:00

22 (月)につこり作業所 9:30~15:30

10/10(金) 本部 生神金光大神大祭 (列車参拝)
10/17(金) 13:30 篠原教会 生神金光大神大祭
11/14-15(金-土)立教記念祭 本部バス参拝



ご報告



8/8 お賽銭 (1月~8月) 21,092 円を

「ユニセフ支援ギフト」として寄付いたしました。



月礼参拝時刻表



姫路行き ひかり 533 号 (広島行き) 山陽本線 (金光行き)
篠原 → 京都 → 岡山 → 金光
7:01 発 7:42 着 8:01 発 9:13 着 9:30 発 10:03 着

訃報



菱田善太郎氏には 8 月 13 日ご帰幽になりました。長年お道のために、ご尽力くださいました。お礼を申し上げ、ご冥福をお祈り申しあげます。